

厳しい治安情勢に的確に対応するための体制強化について

【 国家公安委員会・警察庁・総務省・財務省 】

提案・要望の内容

依然として厳しい治安情勢等に的確に対応するため、次の措置を講じること。

- ・ 地方警察官30人を緊急増員すること
- ・ 自動車ナンバー自動読取装置を2基整備すること
- ・ NBC対策車を1台整備すること

【 現状と課題 】

地理的状况等の特殊性

- ・ 県土が東西に長く、県東部に大規模テロの対象となる原子力発電所、県西部に外国船籍が頻繁に入港する浜田港を抱えるほか、空港など治安対策上配慮すべき対象が分散している。

島根県の治安情勢

- ・ 刑法犯認知件数が依然として高水準で推移し、県民の体感治安は改善されたとはいえない状況にある。
- ・ 社会的に弱い立場にある子ども・高齢者が狙われる犯罪が多発しているなど、重要犯罪等の手口、方法が悪質化している。
- ・ 自動車を使用し、県境をまたいでボーダレスで犯行するヒット・アンド・アウェイ型犯罪への的確な対応が重要となっている。
- ・ 国際テロ組織関係者が地方都市に潜伏していたことが判明するなど、国際テロは当県にとっても身近な脅威となっている。

【 本県の取組状況・方針 】

組織体制の見直しと業務の合理化

- ・ 組織の効率化を図るため、組織・人員配置の見直しを図るとともに、道路交通法、警備業法等に基づく調査・講習業務などの外部委託、業務の合理化を図っている。

初動警察活動支援システムの整備

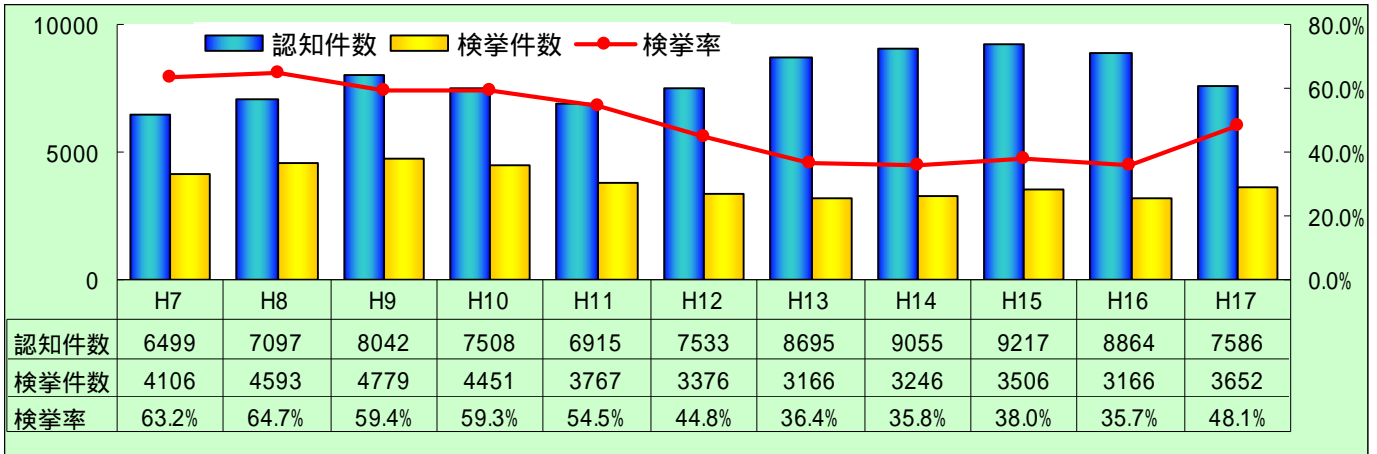
- ・ 国においては、主要国道、高速道、県境を対象とした点の配置で自動車ナンバー自動読取システムを整備しているが、県では、面の配置として初動警察活動支援システムを整備している。

【 提案要望の効果 】

厳しい状況にある治安を回復するための体制の確立が可能となり、「日本一治安の良い地域社会」の実現が図れる。

自動車盗の早期検挙による被害者への早期還付が図れるほか、自動車使用犯罪の検挙向上が期待できる。

刑法犯認知件数は、7,586件で回復傾向にあるものの依然として高水準で推移
 認知件数のうち72.3%は「窃盗犯」
 松江、出雲、浜田、益田署管内で全体の80.9%と犯罪の都市部集中化が進展



認知件数は減少傾向にあるが、犯罪の手口が悪質化

